

じようどしんしゆうきようしよう わたし あゆ みち  
浄土真宗の教章 〔私の歩む道〕

わたし おが ほとけさま ほんぞん  
私の拜む仏様 〔本尊〕 は「阿弥陀如来」、くわしくは「南無阿弥陀仏」という。  
「はかりないのち（無量寿）」と、きわもない光（無量光）の阿弥陀仏に一心に  
きみよう  
帰命するものを必ず救う」という意味。

この 〔南無阿弥陀仏〕 の六字の名号は、一切の功德にすぐれ、名を称すれば  
ねんぶつ  
（お念仏すれば） かならずじようど  
必ず浄土に生まれることが出来るのである。なぜかというと、そ  
れが阿弥陀の本願に誓われてあるからである。

〔弥陀の本願〕とは、阿弥陀如来の四十八の誓願のことで、その中でも第十八  
がん ねんぶつおうじよう がん  
願を「念仏往生の願」という。「必ず救う」という阿弥陀の本願を信じて念仏すれ  
ば、 だれ かならず すぐ  
誰もが必ず救われる。